

令和5年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査
調査結果の分析・活用資料

みんなが「わくわく」する学校に



～元気な学校づくりのために～

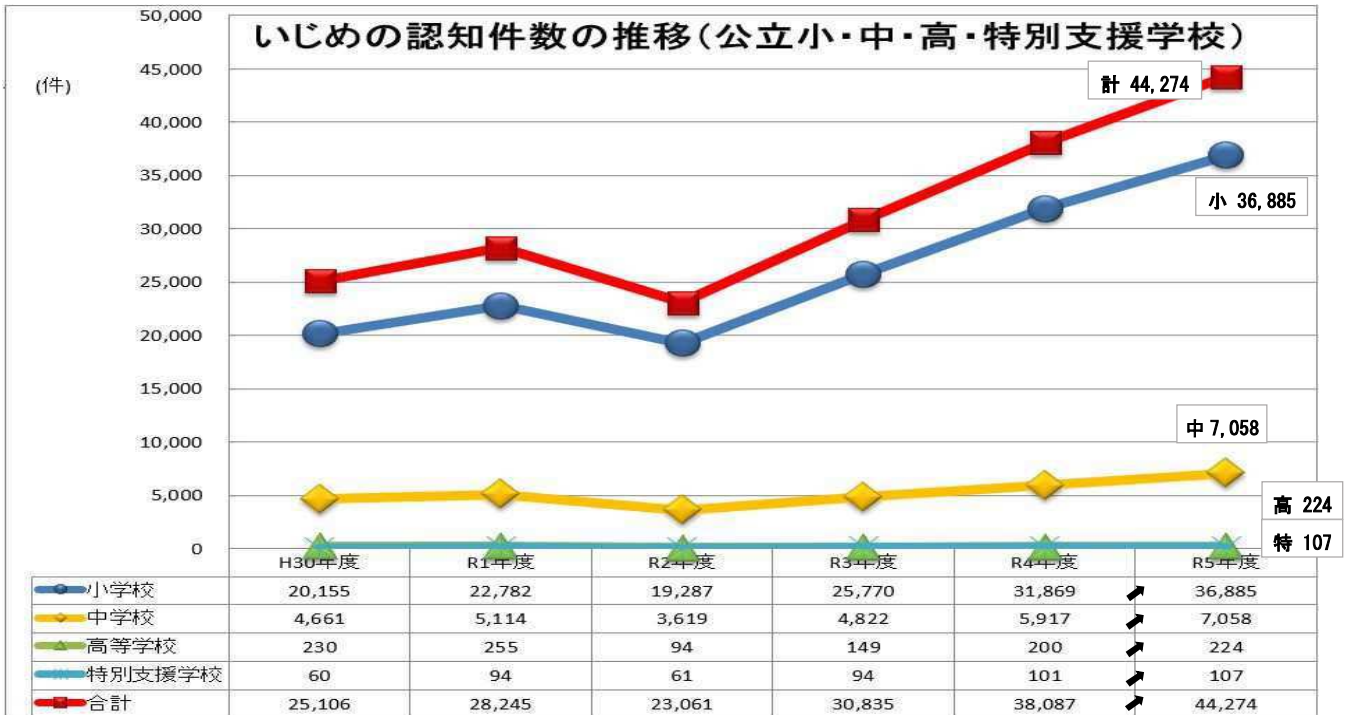
資料の全体は
こちらから

令和6年10月
神奈川県教育委員会



いじめについて（公立小・中・高等学校・特別支援学校）

*いじめの定義等及びいじめの解消については17ページに記載しています。



令和5年度、公立小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数は、前年度より6,187件増加し、44,274件でした。全ての校種において認知件数が増加しました。令和6年7月20日時点のいじめの解消率は、前年度より0.7%上昇し、91.6%でした（P1参照）。

学校いじめ基本方針等に基づいて、いじめを「見逃さず」認知し、組織的に迅速な対応をとることが重要です。



「いじめ」の定義を確認しましょう



これって「いじめ」?

- 意図して行っていない行為
(ひやかし・からかい・嫌なことを言われる等)
- 継続的に行われていない行為
- 1対1での嫌がらせ
- 相手を特定せずに行った行為

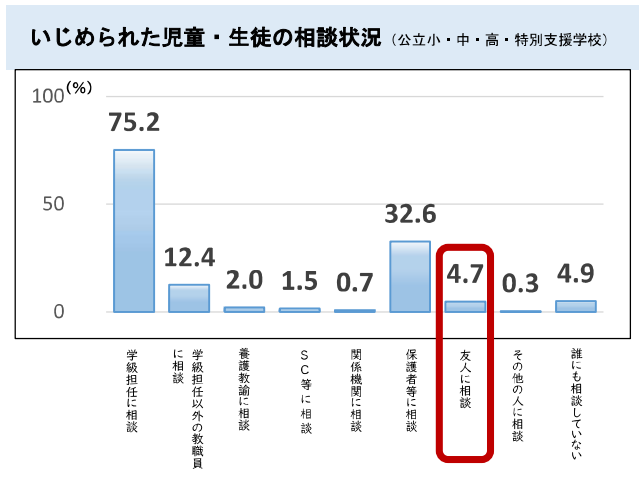
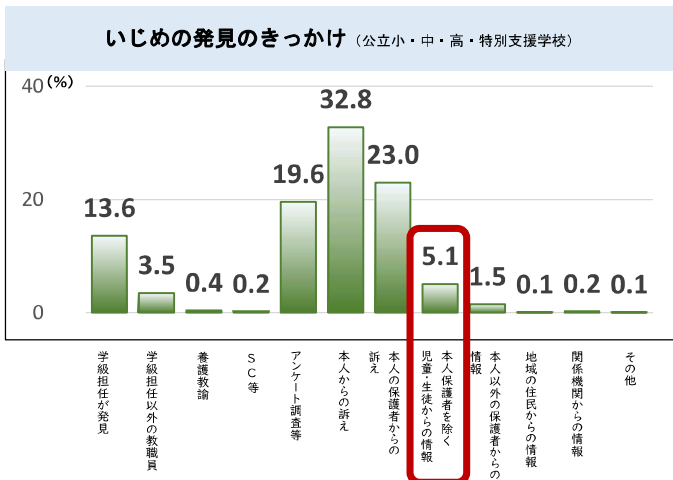
その行為を受けた子どもが心身の苦痛を感じている場合は、**全て「いじめ」と認知**します。

「いじめ」の定義

第2条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、**当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの**

【いじめ防止対策推進法（平成25年）】

一人ひとりの「いじめは絶対に許さない」意識と集団づくりへの指導が大切です



「いじめの発見のきっかけ」について、「本人を除く児童・生徒からの情報」は、いじめ認知件数全体の **5.1%**、「いじめられた児童・生徒の相談状況」(複数回答)をみると、「友人に相談」が、いじめ認知件数全体の **4.7%**でした。「いじめ」を批判的に捉え、信頼できる大人に相談する等、自分にできることを行うことが、「いじめ」の大きな抑止力となります。

「これって『いじめ』かな?」と思ったら…



A小学校教員(1年目)

最近、クラスの雰囲気がよくないんです…ある子をからかって笑ったり、変なあだ名で呼んでいる子たちがいるようなんですよ…



A小学校教員(15年目)
教育相談コーディネータ

クラスの雰囲気の変化に気付いたんですね。その子たちの周りの子たちはどんな様子ですか?



周りの子たちは、一緒になってからかう子もいれば、黙ってみている子もいます。



周りの子たちが「そこ笑うところじゃないよね」と言ったり、先生に「あの子たち、気になるんです」と伝えたりすることが大切です。



そのためにできることは何ですか?



私は、授業の中で思った事を言い合える場面を工夫しています。



子どもたちが、自分の思いを言えることが大事なんですね。

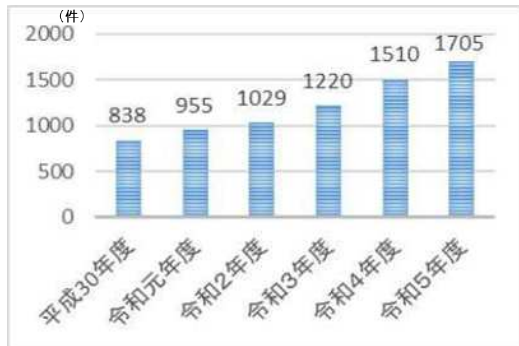


そのためには、相手のことを認め合える集団づくりが大切だと私は考えますよ。

学校と家庭が連携・協働し「いじめを見逃さない」ためにできることを考えましょう

●学校と家庭が連携・協働した「情報モラル」に関する指導の充実が必要です

【「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる」の認知件数（小・中・高・特）】



認知件数は、昨年度から約 200 件増加しています。子どもたちの携帯電話やスマホに対する付き合い方を改善していく必要があります。

学校として、子どもたちに向けて正しいスマホ利用の仕方を伝えていくこと、また、家庭に対しても子どもの適正なスマホ利用についてルール作りを働きかけていくことが大切です。



●『いじめのサイン』チェックシートを保護者会等で配布し、一緒に確認しましょう

いじめをしている子のサイン

- 家族との会話が減った。
- 学校や友だちの話題をさけるようになった。
- 親の言うことを聞かなくなり、反抗的な態度をとるようになった。
- 親が自分の部屋に入るのを極端に嫌がる。
- 険しい表情をするようになる。
- 言葉づかいが悪くなる。
- 友だちを軽蔑するような発言が増える。
- 友だちとの間に上下関係が感じられるようになる。
- 今までと違った雰囲気や友だちと付き合いようになる。
- お金の使い方が荒くなる。
- お小遣いでは買えないものを持っている。
- 買った覚えのないものを持っている。

いじめを受けている子のサイン

- 朝起きてこない布団から出てこない。
- 朝になると体の具合が悪いと、学校を休みたがる。
- 遅刻や早退が増えた。
- 食欲がなくなったり、だまって食べるようになる。
- ケータイ電話やメールの着信音におびえる。
- 勉強しなくなる。集中力がない。
- 家からお金を持ち出したり、必要以上のお金を欲しがる。
- 遊びの中で、笑われたり、からかわれたり、命令されている。
- 親しい友だちが遊びに来ない、遊びにいかない。
- 表情が暗く、家族と会話も少なくなった。
- ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
- 学校や友だちの話題がへった。
- 自分の部屋に閉じこもる時間がふえた。
- パソコンやスマホをいつも気にしている。
- 理由をはっきり言わないアザやキズあとがある。
- 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
- 学校で使うものや持ち物がなくなったり、こわれている。
- 教科書やノートにいやがらせのラクガキをされたり、やぶられたりしている。
- 服がよごれたり、やぶれていたりする。

国の調査によると、どの子にもいじめの経験があります。

小4～中3の6年間でいじめをした経験がある9割、いじめをされた経験がある9割

国立教育政策研究所 いじめ追跡調査(2013から2015)

